

令和6年度 高校教育とPTA専門委員会研修会

実施期日：令和6年11月11日（月）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

後 援：(一財)埼玉県高等学校安全振興会

目 次

次第 2 ページ

発表校資料

(1) 埼玉県立越谷総合技術高等学校 P T A 3 ページ

(2) 埼玉県立狭山清陵高等学校 P T A 7 ページ

(3) 埼玉県立岩槻高等学校 P T A 11 ページ

(4) 埼玉県立熊谷商業高等学校 P T A 15 ページ

連絡事項 事務局より 19 ページ

令和6年度埼玉県高等学校PTA連合会
高校教育とPTA専門委員会研修会 次第

日時 令和6年11月11日(月)

場所 埼玉会館 小ホール

受付 12:30~13:00

【司会・進行】 埼玉県立熊谷高等学校PTA会長 田口 圭太

1 開会のことば(13:00)

埼玉県立熊谷高等学校PTA副会長 浅見 禄郎

2 講演会(13:05~14:20)

(1) 講師紹介 埼玉県立熊谷高等学校校長 加藤 哲也

(2) 講演
講師 埼玉県県民生活部国際課 主幹 関根 なつき 様
演題 『やさしい日本語と多文化共生の地域づくり』

(3) 質疑応答

(4) お礼のことば 埼玉県立岩槻高等学校校長 深井 秀仁

休憩(14:20~14:30)

3 開会行事(14:30~14:40)

(1) 委員長あいさつ 埼玉県立岩槻高等学校PTA会長 三俣 満希

(2) 講師紹介 (司会)

(3) 発表者・校長の紹介 (司会)

4 研究協議(14:40~16:00)

(1) 実践発表(各校20分)

東部支部 埼玉県立越谷総合技術高等学校PTA会長 佐藤 希代美
【越谷総合技術高校 PTAの取組 ~高校教育とPTA~】

西部支部 埼玉県立狭山清陵高等学校PTA会長 大坂 美佳
【狭山清陵高校PTA活動】

南部支部 埼玉県立岩槻高等学校PTA会長 三俣 満希
【岩槻高校PTA ~効果的な連携のための組織づくり~】

北部支部 埼玉県立熊谷商業高等学校後援会会長 中島 千尋
【熊谷商業高校 PTAの取り組み ~高校と連携したPTA活動~】

(2) 質疑応答

(3) 講師評(16:05)

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 主任指導主事 薬師寺 将二 様

5 情報提供 埼玉県高等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆

6 閉会のことば(16:30)

埼玉県立熊谷高等学校PTA副会長 浅見 禄郎



埼玉県立越谷総合技術高等学校

スペシャリストを目指そう！

Saitama Prefectural Koshigaya Sogo Gijutsu High School

越谷総合技術高校 P T A の取組

～高校教育と P T A～

埼玉県立越谷総合技術高等学校

P T A 会長 佐藤 希代美

P T A 副会長 山口 糸帆

1 学校概要

(1) はじめに

本校は昭和 61 年（1986 年）に、地域の産業経済の変化に対応し、創造性豊かで人間性に富む産業人材の育成を図ることを目的として、地元等の大きな期待を受けて、越谷市で 6 番目の高校として開校をいたしました。電子機械科・情報技術科の工業系 2 学科、流通経済科・情報処理科の商業系 2 学科、服飾デザイン科・食物調理科の家庭系 2 学科、合計 6 学科を設置する総合技術高校です。これまで保護者の皆様や地元越谷市をはじめとする関係機関及び関係企業等の皆様から御支援を賜り、約 1 万人の卒業生が社会の多方面で活躍をしています。

(2) 校訓・校章・目指す学校像

ア 教育目標 「社会の有為な形成者として、人格の完成を目指すとともに、産業経済の変化に対応できる健康で明るくたくましい、創造性豊かで柔軟性を備えた、人間性に富む産業人材を育成する。」

イ 校訓 創造・信頼・錬磨

ウ 目指す学校像 「チームで働く力を身につけた人間性豊かな産業人材を育成する学校」



校章

3 個の球は校訓(左記)と 3 大学科(工・商・家)及び知・徳・体を表す。

3 個の半球は、教職員・生徒・保護者を表し、この三者の信頼の上で教育活動が推進されていくことを意味している。

(3) 各学科の特徴的な取組

ア 電子機械科・・・将来のエンジニアを目指し、設計製図、工作機械を使った機械加工などものづくりをとおして技術を育成

【主な資格取得】第 2 種電気工事士 基礎製図検定

【進路】就職 38%、4 年生大学等 30%、専門学校等 29% その他 3%

【地域連携の例】ミニ新幹線の運行 小学生向け工作教室など



イ 情報技術科・・・システム管理に優れた技術者を目指し、コンピュータハードウェア(電子回路)ソフトウェア(プログラミング)の技術を育成

【主な資格取得】基本情報技術者試験

【進路】就職 19%、4 年生大学等 65%、専門学校等 16% その他 0%

【地域連携の例】鳥人間シミュレーションプログラムの制作とデモなど

ウ 流通経済科・・・簿記や販売技術、ワープロや表計算ソフトの操作など、商業に関する幅広い能力を育成

【主な資格取得】簿記試験

【進路】就職 53%、4年生大学等 26%、専門学校等 15% その他 6%

【地域連携の例】外部講師によるビジネスマナー講習会（ラッピング）など



エ 情報処理科・・・ビジネス情報を自在に使いこなす社会人を目指し、ビジネスに必要なコンピュータ実務や簿記会計に関する知識と技術を育成

【主な資格取得】情報処理検定 簿記検定 ITパスポート試験

【進路】就職 44%、4年生大学等 36%、専門学校等 16% その他 4%

【地域連携の例】近隣の大型店舗との連携事業など

オ 服飾デザイン科・・・アパレル産業で活躍できる人材を目指し、衣服をデザインし、型紙を作成し、生地を裁断、縫製するまでの技術を育成

【主な資格取得】家庭科被服技術検定

【進路】就職 26%、4年生大学等 5%、専門学校等 65% その他 4%

【地域連携の例】中学生を対象としたデザイン画コンクールなど



カ 食物調理科・・・包丁の扱い方など基本的な技術から本格的な日本、西洋、中国料理の知識と技術を育成

【主な取得資格】調理師免許 家庭科食物技術検定

【進路】就職 49%、4年生大学等 33%、専門学校等 18% その他 0%

【地域連携の例】市役所との連携事業 大型店舗との連携事業など

2 PTAの活動について

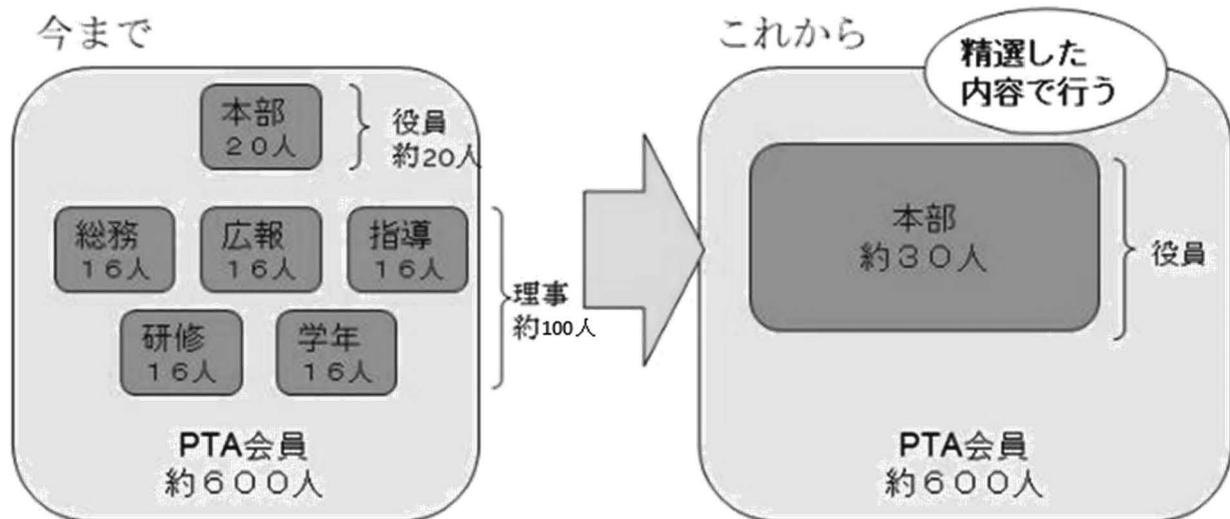
令和6年度の活動計画は以下のとおりです。

- 4月 新会員入会式・新役員選出、新旧役員会
- 5月 PTA だより「越谷総合技術 105号発行」 第39回PTA総会、第1回学校評価懇話会
- 6月 第1回役員会
- 7月 卒業準備委員会
- 8月 第73回全国高等学校PTA連合会大会
- 9月 第2回役員会
- 10月 文化祭参加
- 11月 埼玉県高等学校PTA連合会専門委員会研修会
- 1月 第3回役員会
- 2月 第2回学校評価懇話会、第4回役員会
- 3月 PTA だより「越谷総合技術 106号発行」 卒業式、入学許可候補者説明会



3 PTA組織について

本校のPTAはコロナ禍で組織改革を実行しました。以前は、本部・総務部・広報部・指導部・研修部・学年部に分かれて活動していましたが、5つの専門部を全て廃止して本部一つに統合しました。それに伴い構成人数も以前の約100人から約30人まで必要人数を大幅に削減し、仕事内容も精査しました。保護者の負担が少なく、やりたい人が自主的に楽しく活動できる組織作りを目指しています。



4 PTAによる学校教育活動への支援協力の具体的な取組

(1) 役員会、総会の開催

役員交代の新旧役員会を含めて、年に5回の役員会と総会を実施していました。その後、改革を図り、その世代のPTAがやりたいことをやる運営方針なので、年によって取り組み内容が変わっています。



(2) 学校評価懇話会への出席

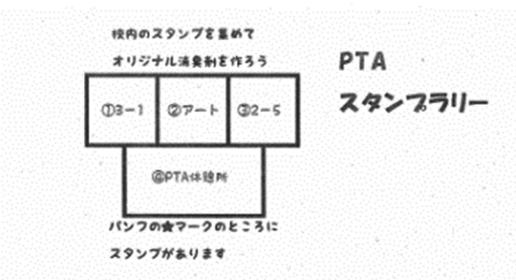
学校評価懇話会に、保護者代表として会長1名、副会長3名で参加しています。先生だけでなく、生徒や地域の方々と直接学校について話し合える貴重な機会です。それぞれの目線で意見交換できるので視野が広がり、PTA活動の一助となっています。

(3) PTA会報の発行

入学式と卒業式の情報を小冊子にして発行しています。式典でお話された内容だけでなく、多くの先生方からの個別メッセージと顔写真も掲載しているので、先生方を覚えるのに役立っていると、会員の皆さまから評価をいただいております。

(4) 文化祭への参加

文化祭の時にPTA進学相談室を開催しています。保護者目線で助言することで、入学に関する不安を払拭し、受験希望の生徒を増やそうという試みです。また、R6年度はスタンプラリーやワークショップも開催予定です。



(5) 外部研修会への参加



高P連などの外部研修にできる範囲で参加して、得られた知識をPTA役員間で共有しています。教育に関する講話など興味深い話も多く、活動を通して保護者としても成長できるのが魅力です。参加者は後日レポートにまとめ、PTA連絡用SNSで共有しています。

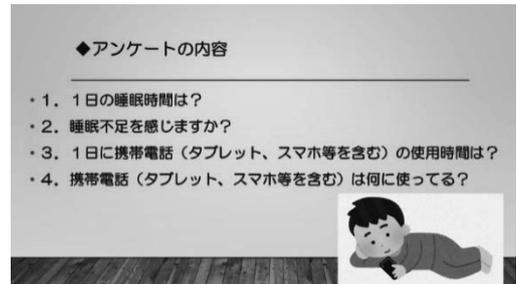
(6) 卒業準備委員会の活動

3年生の役員を中心に卒業準備委員会を発足し、卒業記念品の選定や、卒業祝い菓子の準備（選定・納品・配布準備）を行っています。また、R5年度は卒業式当日の思い出を写真に残せるフォトスポットのモニュメント製作するなど、生徒会の生徒とも協力しました。



(7) 学校保健委員会への参加

学校保健委員会は「学校における心身の健康問題を協議し健康づくりを推進するため、学校と家庭、地域社会等を結ぶ組織」です。主な参加者は、学校医・学校歯科医・学校薬剤師及び教職員、保護者で、PTAは家庭代表として参加しています。R5年度は、保健委員（生徒）が「睡眠について」というテーマで調査を行い、その結果を発表してもらい、意見交換をするという流れの実施でした。



(8) 会費の減額

PTA活動の負担を軽減する際に、年会費の見直しも行いました。それまで会費収入に対して、支出が半額程度であったため、収入に占める繰越金の割合が年々増加していました。そこで、令和5年度から会費を年間1,200円減額して、保護者の金銭面での負担軽減を図りました。

(9) 会計監査への協力

総会で報告するPTAの会計監査とは別に、学校徴収金の監査を実施しています。専門高校ですので、学科ごとに集めるお金が多様です。保護者代表の監査担当が、2月に実施しています。

5 PTA専用SNS (BAND) の導入について

コロナ禍から、連絡や資料の共有の為に、BANDという連絡アプリを利用しています。毎年使うデータなどもアーカイブとして保存しておいて、学校からの情報共有なども即時可能です。また、LINEと違いメールアドレスのみで利用できるのも、個人情報の交換をする必要がないのも利点です。



6 終わりに

私たちの活動の根底にあるものは「子どもたちのために」です。PTAはプロの集団ではありませんし、何か特別な事をしようとしている訳でもありません。組織改革後のシンプルで前向きなPTAを様々な活動を通して保護者の皆さまに知ってもらい、ご理解ご協力いただくと共に、その時々合わせた方法で学校生活の充実、進路の実現に向け先生方と一体となって子供たちを応援していきたいと考えています。



狭山清陵高校PTA活動



1 学校概要

本校は昭和57年に開校し、今年43年目を迎えた、全日制・普通科の高校です。1学年5クラス規模で、敷地には緑が多く、落ち着いた雰囲気のある学校です。また、校内には狭山特別支援学校狭山清陵分校が併設されています。

「たかく ゆたかに たくましく」を教育方針として、教育活動を行っています。

(1) 目指す学校像

たかい知性、ゆたかな人間性、たくましい心身を育む学校

(2) 教育課程

1・2年次は、国数英を中心に基礎科目を充実させ、基礎・基本的な内容をしっかり学べるようにしています。1年次の英語では、少人数での授業を展開しています。

3年次は、多様な進路希望を実現するため、多くの選択科目を設定しています（4分野 週12時間の選択授業 19科目から選択）。

(3) 進路活動

令和5年度卒業生実績

大学・短大	38.2%	専門学校	39.4%
就職	16.4%	その他	4.2%

多様な進路に対応するため、1年次から手厚く進路行事を実施し、個々に応じた少人数指導を行っています。また、就職支援アドバイザーが配置されています。

(4) 部活動

運動部14団体・文化部10団体

- ・野球部 県大会ベスト8
- ・バレーボール部 県大会出場
- ・ソフトテニス部（男子） 県大会出場
- ・ソフトテニス部（女子） 県大会ベスト32

りほぼ放置状態となった。それに伴い 1、2 年生からも活動に参加する理事がさらに減少。理事会に参加しても相談、報告、反省、引継ぎがないので出席している意味がわからない状態。

学校からは会費の管理や教材費との兼ね合いで PTA を廃止するのは難しいとの意見。担当教員の任期は 1 年であり、引継ぎもなく協力が得られない。廃止ができないなら縮小するためにはどうしたらいいのか。

5. 今年度の目標

わかりやすく活動内容を提示し、縮小や廃止できるものを決める
増額している繰越金を減らす

6. 考えたこと

『狭山清陵高等学校の PTA とは』を作成
引継ぎ資料を作成
大きなものの購入
大々的に補修、修繕
清陵祭に資金提供
各行事にもっと予算をあてる
PTA 会費未納者(後援会費のみ納付)の対応策

7. 県立高校のしがらみ

本部役員も教務も任期が 1 年のため継続していくことが難しい
購入や修繕は申請し、許可が下りて、実施するまでに時間と手間がかかる。
ランニングコストのかかるものは難しい(継続していけない可能性がある)
管理者は誰になるのか(本部役員は任期が 1 年でありできない)
管理場所はどこになるのか(分校も入り、ますます教室が減った)
購入したものを買い替え、補修が必要になったときには誰が対応するのか

8. わかったこと

購入、補修は難しくても清掃は可能
購入、補修も資金は自分たちが持ち、許可だけの依頼なら時間短縮になる。
新しく始めることは難しいが、今まで行っていることをパワーアップすることは容易
清陵祭には生徒会費が使用されるため予算内に行うことの大切さを勉強するためにも他者からの援助は迷惑になる
生徒や学校のために使用するよりも理事に使用するほうが実現しやすい

9. 結果

進路説明会を廃止し、生活進路委員会は生活委員会に改名
総務委員会は理事選出会と清陵祭出店を担っていたが清陵祭出店は生活委員会に変更

広報委員会は広報誌発行を年 2 回から 1 回に変更

校外研修は担当を数名ずつ決めて強制参加としていたが、強制はしない

今年度、PTA の引継ぎ資料を作成し理事、教務全員で共有する

トイレの清掃を業者に依頼

ロードレースのみ生徒に配られていたスポーツドリンクを体育祭、球技大会にも配布

清陵祭で全校生徒、教職員に飲食物等を配布

体育祭でハチマキの色別オリジナルタオルを配布

PTA 用ポロシャツ作成

理事会出席者にお茶を配布

PTA 用のテントを購入し体育祭などの見学席として使用

理事に慰労としてクオカードを配布

10. 今後に向けて

コロナ禍で大幅に活動がなくなり活動しないことに慣れてしまった今、リモートや書面開催にしたり、縮小したりと簡略化されたものを、普通に戻すというのは、昔を知らない私たちにとっては新たな仕事を与えられているのと同じで難しい。

昨年この研修会での発表を聞き、役員活動に意欲的に参加している方は少なくなってきていると感じた。今後各高校の PTA 理事が減少し続け、PTA を廃止せざるを得ない状況になる可能性は低くないと考える。

本校は昨年何も対策をとらずに仕事をしないという行動を会長、副会長をはじめとする旧 3 年生がとった。発表担当となっていたら辞退をせざるを得ない状況だったことは間違いなかった。習うように現 2 年生の出席率も 1 割程度であり来年度であっても辞退となっていたら。本校のような状況が増えれば高 P 連の会費も集まらなくなる、このような研修会も開催できなくなるということを理解してほしい。来年度の埼玉大会に向けても今年度の役員が残留という過酷な現状。コロナ禍で学んだことを生かし、役員の負担軽減に努め簡略化する方向で考えていってほしい。

岩槻高校 PTA 活動 ～効果的な連携のための組織づくり～

埼玉県立岩槻高等学校

PTA会長 三俣 満希

校長 深井 秀仁

1 はじめに

(1)本校の概要

本校は、昭和23年埼玉県立春日部高等学校岩槻分校として創立され、組合立学校としての変遷を経て、昭和41年に埼玉県立岩槻高等学校となりました。その後、平成2年度に普通科国際文化コース、平成6年度には国際文化科が設置されるなど、時代の要請に応じて様々な変容を辿りながら、本年度で創立76年目を迎えています。県立移管後の卒業生は計1万8千人を超えており、地域社会をはじめとした様々なフィールドに人材を輩出してきました。また、令和6年で区政20周年を迎えるさいたま市岩槻区内、旧岩槻城の西南約1kmの場所に立地しており、人形のまち岩槻を代表する高校としての地域からの期待が高く、地域との交流活動などにも力を入れています。



現在、各学年普通科は7クラス、国際文化科は1クラスとなっており、普通科・国際文化科を合わせて900人以上の生徒が在籍しています。その中には外国にルーツを持つ生徒も一定数在籍しており、校訓「尊重 (respect)」「協働 (teamwork)」「創造 (creation)」のもと、「毎日が国際交流」を合言葉に、グローバルな社会で活躍できる人材の育成を、学校全体で推進しています。部活動は運動系14、文化系17（うち同好会2）があり、西関東大会出場の吹奏楽部をはじめ、多くの部活動が活発に活動し、生徒たちは充実した高校生活を過ごしています。

(2)岩槻新校(仮称)

県立高校第2期再編計画として、本校と岩槻北稜高等学校が統合し、令和8年度に「岩槻新校(仮称)」(以下、「新校」と記す)が開校します。「新校」は、現在の本校の位置に設立され、普通科のほかに「国際教養科」が設置され、グローバルに活躍できる人材の育成を目標としています。なお、今年度の本校1年生・令和7年度に本校に入学する生徒は、令和8年度にそれぞれ「新校」の3年生・2年生になります。岩槻高校のDNAを引き継ぎながら、更に発展した教育活動が展開されていくものと期待しています。

魅力ある県立高校づくり 国際感覚を身に付けたグローバル人材を育成する高校

第2期 岩槻新校(仮称) 普通科 280人 国際教養科 40人

198年度 開校 Saitama prefectural Iwatsuki New school (tentative name) High School 県教育委員会HP

新校の教育方針

- 国際感覚や語学力を身に付け、国内外で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。
- 自国の伝統や文化を理解し、異なる文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、SDGsなどの地球規模の課題の探究活動に取り組み。
- 地域の伝統産業を海外に発信することで、地域社会に貢献しつつ、豊かな表現力を身に付ける教育を行う。

の3つを掲げています。

岩槻高校と岩槻北稜高校が統合する新校は「国際に関する学科及び普通科の併置校」として現在の岩槻高校の敷地に開校します。生徒募集は令和8年度から行います。令和7年度の入学生は2年生からは新校の生徒になります。

2 本校のPTA組織体制と年間計画

(1)組織体系

本校PTAでは、会長・副会長をはじめとして6つの役員をおき、それぞれの任務を会則において規定しています。

また、予算・決算などの事項を審議決定するための総会・常任理事会、理事会のほか、各学年単位で学校との連携に当たる学年会、PTA全体で実施する具体的な活動についての企画・運営を行う専門部会として、「進路研修部」「厚生部」「広報部」を設置しています。

【PTA役員構成とその任務】

- ・会長 ……本会の代表
- ・副会長 ……会長の補佐
- ・監事 ……会計監査
- ・常任理事……企画・連絡調整
- ・理事 ……企画
- ・幹事 ……庶務会計

(2)年間計画

本校のPTAでは、年間を通して様々な活動を実施しています。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動の縮小を余儀なくされるなど、困難な状況が続いていましたが、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行されたことなどから、令和6年度からは感染症の影響を受けずに、通常通りの活動を展開することができています。

4月	・新旧理事会	10月	・学校公開受付補助 ・PTA大学見学会 ・県高P連南支部役員等研修会
5月	・県高P連南支部総会 ・PTA総会/進路講演会 ・PTA広報誌「やまぶき」発行 ・体育祭警備	11月	・PTA進路勉強会 ・マラソン大会給水補助 ・PTA学年懇談会 ・県高P連専門委員会研修会
6月	・県高P連総会 ・バザー献品	12月	・PTA広報誌「やまぶき」発行
7月	・関東高P連大会 ・PTA広報誌「やまぶき」発行	1月	・PTA理事会
8月	・全国高P連大会	2月	
9月	・PTA理事会 ・文化祭巡回警備 ・文化祭PTAバザー	3月	・新理事選出（入学説明会）

3 効果的な連携のための取組

(1) 令和4年度の組織改編

本校PTAでは、従来「進路指導部会」「広報部会」「生徒指導部会」「研修部会」「厚生文化部会」の、5つの専門部会を構成して運営を行っていました。しかし、時代の変化とともに学校の教育活動やPTAに求められる役割が変化する中、PTA活動の現状を踏まえ、活動内容を整理して組織を改編することが令和3年度に議決され、令和4年度から3つの専門部会からなる新しい組織体制で運営しています。

【令和4年度 専門部会の改編】

- ・「進路指導部」と「研修部」を統合して、「進路研修部」を設置した。
- ・「生徒指導部」と「厚生文化部」を統合して、「厚生部」を設置した。
- ・上記の統合により、専門部会は5つから3つに改編された

(2) 各専門部会・学年部会の取組

ア 進路研修部

学校の進路指導部と協力し、生徒の進路希望実現を図るための活動を行います。

5月には、PTA総会に合わせてPTA進路講演会を実施しています。令和6年度は外部講師の方をお招きし、「大学進学へ向けての取組」というテーマでご講演いただきました。大学入試が多様化する中、どのような準備が必要か、保護者としてどのように接していくべきかについてご説明いただきました。学校と家庭が連携して進路実現を図ることの重要性を学ぶことができました。

10月にはPTA大学見学会を実施しています。令和5年度は獨協大学・文教大学を訪問し、令和6年度は大東文化大学と東洋大学を訪問する予定です。見学では大学からの説明があり、実際の大学の雰囲気を感じることで、子供たちの進路について、深く考える機会となっています。また、保護者同士や担当の先生方と時間をかけて進路について語り合うことができるため、保護者間や保護者と教員との距離もこの行事を通じて縮めることができているように感じます。



PTA 進路講演会の様子



PTA 大学見学会

イ 厚生部

P T A会員の厚生文化に関する活動のほか、学校行事の補助役員を実施しています。

体育祭では、見学に来る保護者の誘導と受付業務などを行います。令和6年度は台風の影響により、開始時間の遅延や見学場所の制限等がありましたが、先生方との連携によりスムーズに進めることができました。文化祭では、学校の生徒会指導部や生徒指導部などと連携して、校内警備補助業務を行います。また、マラソン大会では、給水所を設置して給水係を担当しています。

各学校行事での活動は、学校の先生方と連携して行うほか、子供たちの活動を直接見ることもできます。学校行事の精選の必要性などが議論されていますが、学校行事を活性化させることは子供たちの高校生活の充実につながります。学校とP T Aが連携することで学校行事の運営を円滑にできると考えています。



マラソン大会給水所

ウ 広報部

P T A広報誌「やまぶき」を年3回発行します。

5月には、教職員紹介号として、教職員の顔写真やプロフィールを掲載します。7月と12月には、P T A活動の報告や学校行事の様子を掲載します。



「やまぶき」表紙

エ 学年委員

年間を通じて、学年の会務にあたります。

11月には学年担任団との懇談会を実施し、その運営を行います。懇談会では、進路希望実現に向けた説明などのほか、文化祭などの学校行事の裏話などのエピソードを伺うことができ、学校での子供たちの様子を詳しく知ることができます。保護者からも子供たちの流行や家庭での様子などをお話しし、相互に有意義な情報交換ができています。



文化祭でのP T A バザー

また、文化祭ではバザーの企画運営を実施しています。年間最大の学校行事である文化祭に企画として参加することで、文化祭の盛り上がりにも貢献するとともに、保護者自身のP T A活動へのやりがいにつながっていると考えています。

4 おわりに

5つの専門部会を3つに再編成したことにより、各専門部会が年間を通じて定期的に活動するようになり、学校との連携もより円滑に進めることができます。保護者の状況も多様化する中、P T A活動も子供たちの教育活動の支援の効果を維持しつつ、学校との連携を深めて効率的に運営することが求められているのではないのでしょうか。令和8年度には新校のP T Aが発足することになり、新しい時代の組織づくりが求められることになるでしょう。子供たちの教育活動の充実に向け、今後も学校との連携の深化に向けた取組を進めていきたいと思ひます。



埼玉県立熊谷商業高等学校
Saitama Prefectural Kumagaya Commercial High School



熊谷商業高校 P T Aの取り組み ～高校と連携したP T A活動～

埼玉県立熊谷商業高等学校
後援会会長 中島 千尋

1 学校概要

(1) はじめに

本校は大正9年に創立し、今年で105年目を迎えた埼玉県初の商業高校です。

101年目の令和2年4月からは「総合ビジネス科」に学科再編し、制服も一新して新たなスタートをきりました。「総合ビジネス科」は従来の商業高校と異なり、高校入学時に学科を選ぶのではなく、高校入学後に商業に関する学習を体験してから2年生以降のコースを選択できる方式です。本校では「学科」に相当するものを「群」と呼び、2年生から「商業群」「情報処理群」「大学進学群」の3つの群の中から自分の進路や興味・関心に沿った群を選択します。

「総合ビジネス科」になってからの進路先は、進学が約6割、就職が約4割となり、進学が就職を上回りました。就職については従来どおり、優良企業から多くの求人をいただき、内定率100%となっています。また、4年制大学の進学については、明治大学や中央大学などの難関大学へ指定校推薦で進学するなどの実績をあげています。

総合ビジネス科の学習形態

1年次

基礎的な商業科目を共通に学習

資格 簿記検定	2級
情報処理検定	3級
ビジネス文書検定	3級
電卓検定	1級(普通計算)

2・3年次は
興味・関心や進路希望に沿った選択

〔商業群〕

簿記を中心に学習し
資格を活かして
就職・進学(推薦)

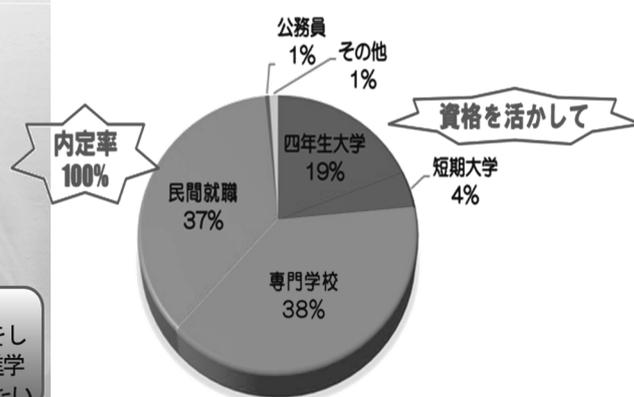
〔情報処理群〕

情報処理を中心に学習し
資格を活かして
就職・進学(推薦)

〔大学進学群〕

普通科に近い学習をし
商業系以外の大学進学
一般入試に対応したい

令和5年度卒業生進路状況



(2) 学校教育目標

ア 目指す学校像

学力向上と礼節教育を実践し、社会貢献できる専門教養を育成する学校

イ 本年度の重点目標

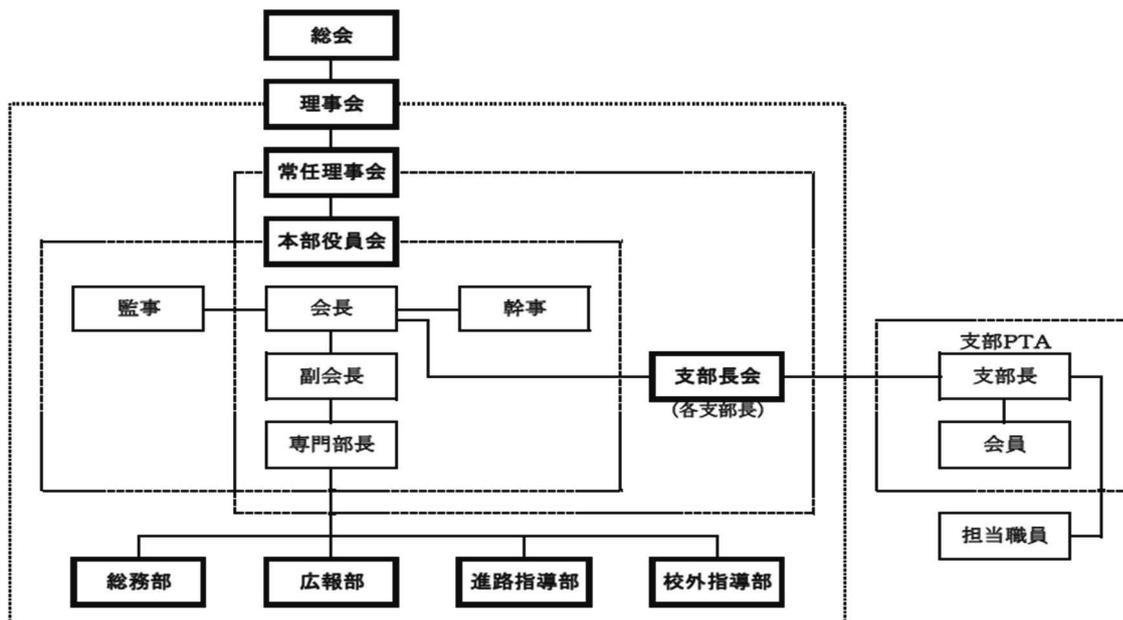
- ①積極的な情報発信に努め、意欲と適性のある生徒を確保することに組織的に取り組む。
- ②生徒のコミュニケーション能力、問題解決能力、情報活用能力などの育成とともに基礎学力・資格取得の向上に取り組む。
- ③基本的な生活習慣の確立とマナー・ルールの遵守の規律ある学校生活の推進に取り組む。
- ④生徒の希望する進路実現に向けて、組織的・体系的な進路指導の充実に取り組む。

2 PTAの組織について

本部はPTA会長の他副会長4名、4つの専門部会の部長4名、後援会10名より構成されています。また、幹事16名、監事2名、支部長8名を常任理事として組織されています。さらに4つ専門部会を設置し、下記に示す内容を担当しています。

- ・「総務部」・・・研修旅行・歓送迎会等の企画運営を担当
- ・「進路指導部」・・・主に就職希望者に対して、面接指導等を担当
- ・「校外指導部」・・・体育祭・文化祭等学校行事の校内巡回を担当
- ・「広報部」・・・広報誌「PTAだより」の発行を担当

PTA組織図



3 P T Aの主な年間行事計画

年間を通しての活動は以下の通りです。なお、ここ数年コロナ禍によりP T A活動は、実施に制限や、中止になることも多々ありました。新型コロナ感染症も5類に移行されたため、これまでの制限が解除され、今までのP T A活動を行うことができるようになりました。しかしながら逆にいままでのノウハウを継承できず取り組みが困難な行事もあります。

【令和6年度 熊谷商業高校P T A年間活動計画】

- 4月 新旧理事会、P T A・後援会会計監査、広報部会①、総務部会①
- 5月 P T A・後援会総会、校外指導部会①、体育祭警備巡回
- 6月 常任理事会①、広報部会②、総務部会②、P T A球技大会
県高P連総会
- 7月 広報部会②、進路指導部会①、関東高P連（千葉県）
- 8月 常任理事会②、校外指導部会②、P T A進路指導部による面接指導
全国高P連（茨城県）
- 9月 文化祭「お休み処」実施、P T A広報誌「P T Aだより」発行①
総務部会③
- 10月 県北部高P連研修会、P T A研修旅行
- 11月 総務部会④、広報部会③、ロードレース大会補助、P T A・後援会忘年会
県高P連専門委員会研修会①②
- 1月 広報部会④、安全教育に関する研究協議会及び講演会
- 2月 常任理事会③、総務部会⑤、校外指導部会③、進路指導部会②
- 3月 P T A広報誌「P T Aだより」発行②、支部別懇談会、新1年役員選出

4 P T Aによる学校教育活動への支援・協力の具体的な取り組み

(1) P T A・後援会、新旧理事会、常任理事会の開催

4月に新旧理事会を行い、5月上旬に総会を行います。また、年間3回（6月・8月・2月）常任理事会を行います。コロナ禍以降P T A行事等の精選を行い、会員及び役員の負担軽減を目指して、見直しを図ることを検討しています。



(2) P T A・ハローワーク・進路指導部・第3学年連携による面接指導

例年8月下旬にP T A役員、ハローワーク、進路指導部、第3学年と連携しながら、主に就職希望の生徒を対象に面接指導を行っています。

○個人面接指導の形態

- ・面接官2名（ハローワーク職員1名・P T A役員1名）
- ・8月下旬（就職希望者履歴書完成の時期）に実施
- ・ハローワークの職員、P T A役員が様々な視点から指導
- ・面接終了後個別に事後指導を実施



(3) 学校行事（体育祭・文化祭・ロードレース大会等）への参加・協力

①文化祭への参加

「お休み処」として文化祭に参加しています。熊谷商業の学校行事や日頃の生徒の様子を動画にまとめた「フォトアルバム」を上映しています。保護者に少しでも学校の様子をお知らせしようという企画です。また、役員・保護者の交流の場としても提供しています。



②体育祭・文化祭・ロードレース大会等の警備

P T A校外指導部を中心に上記学校行事の警備を担当します。本校の職員と連携して行っています。文化祭においては上記「お休み処」が引き継ぎの拠点としても機能しています。

(4) P T A広報誌「P T Aだより」の発行

年間2回（9月と3月）P T A広報部会が担当して「P T Aだより」を発行しています。先生方の顔写真やプロフィール、学校行事や部活動での活躍の様等多岐にわたっています。3月に発行する広報誌の内容は卒業する3年生に向けた記事を多く含み、卒業式に合わせて発行しています。



5 終わりに ～P T A・後援会役員として～

本校P T Aはコロナ禍以降、「無理・負担の少ないP T A活動」をテーマにP T A活動・活動形態・内容 について吟味・検討しているところです。会員の声に耳を傾け、変革していきたいと考えています。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行となった昨年5月からテーマに向かって活動を検討しています。まだ課題・改善点が多々ありますが、できることから少しずつ取り組んでいます。

P T A・後援会・学校がチームとして一体となり、よりよい教育活動につながるよう取り組んでいきたいと思ひます。



埼玉県高等学校PTA連合会 事務局より

1 ハイスクール24還元事業について

令和5年度から、生徒の安全確保を推進するため、埼玉県高等学校PTA連合会が団体加入する「ハイスクール24」による収益の一部を加盟校に還元する「AED設置推進校事業」を始めました。本年度も多数のご応募いただき、誠にありがとうございました。

ハイスクール24の加入状況等により推進校10校選考し、決定した学校に11月15日までに連絡します。

2 「合格者書類」と「PTA関係書類」の差別化について

(1) 「安全振興会」「全国高P連 賠償補償(学校一括加入)」「全国高P連 ハイスクール24(会員任意加入)」の3つの補償制度は、いずれもPTA加入者が補償対象となっている制度です。そのため、合格者書類に同封すると、「入学者全員が対象となる補償」との誤解が生じる恐れがあります。

(2) 対策として、「合格者書類」と「PTA関係書類」の差別化についてご検討ください。「合格書類封筒」とは別に「PTA関係書類封筒」を作成し、PTA関係としてお伝えするべき以下の4点を同封します。

- 「PTA会長あいさつ(例)」(第2回理事会報告で配付済)(鑑文)
- 「安全振興会の案内」
- 「全国高P連 賠償補償の案内」
- 「全国高P連 ハイスクール24の案内」

3 PTAに加入しない保護者さまへの対応について

「安全振興会の補償制度」「全国高P連の賠償補償制度」「全国高P連のハイスクール24」はPTA会員を対象とする制度のため、PTA未加入の方は、これらの制度には加入ができないこと、補償対象外であることを明確に伝えてください。